



1 チームの協調性が勝因!



バレーボールで親睦を深める学生達



優勝チーム(前列 左から小原大地さん、皆川航太さん、後列左から清水響唯さん、大内沙月さん、山中悠梨音さん)

『クラスマッチ』が「リリーアリーナMITO」(水戸市青柳公園市民体育館)で10月16日(水)に開催されました。学生は、1・2年生合同の24チームに分かれ、バレーボールのトーナメント戦で親睦を深めました。

優勝チームの情報セキュリティ2年の小原大地(水戸農高卒)さんは「初めて会った1年生でしたが、チームの協調性が勝因」と同2年の皆川航太(水城高卒)さんは「ゲームを通してコミュニケーションの大切さを実感した」と笑顔で振り返っていました。

2 母校に嬉しい成果報告



卒業生の山田真生さんを応援する恩師の皆さん

昭和48年に創立した全日制普通科の高等学校で、1万人を超える卒業生たちは、県内外の各界で有為な人材として活躍しています。令和7年には、時代の変化と地域の要望に対応した中等教育学校に完全に生まれ変わります。

下山田芳子校長からは、「IT短大を卒業し更に進学する山田君、頑張り!!」とエールを頂きました。

3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞ 茨城新聞(2024年10月19日)
ラーケーションで立会人
笠間・期日前投票所

●木元心結さん(多賀高卒)

◇要約: 笠間市選挙管理委員会が、衆院選の期日前投票所の立会人に高校生や大学生を起用している。

選挙権年齢が18歳に引き下げられてからも、全国的に若年層の投票率が低いため、この取り組みで、若者に興味や関心を持ってもらうのが狙いだ。

◇感想: 私も高校生の時に投票所の立会人を経験したことがあり、投票がどのように行われているのか流れを知ることが出来た。

学ぶことも沢山あったため、とても良い経験になった。今度は、投票する立場で参加したいと思う。

●生畑目秀弥さん(那珂高卒)

◇感想: 選挙権年齢が18歳に引き下げられてからも、全国的に若年層の投票率が低い現状である。

そのため、若年層が使用しているSNSを活用して選挙を行えば、今よりも投票率が上がり、他の年代との格差も少なくなると思う。

●菱沼大清さん(多賀高卒)

◇感想: 私も今年から選挙権が与えられた。責任感をもち丁寧に投票したいと思う。少しでも選挙に興味を持つため選挙管理委員会の責務を全うすることは大切である。

私も政治に興味を持ち、将来の日本の発展を前線で支えていきたい。

●伊藤大晟さん(鹿島高卒)

◇感想: 自分も選挙権を持っているため、選挙や政治に関心を持ち、日々ニュースや新聞を読んでしっかりしている人に投票したいと思う。

また、若年層の投票率を高められるよう、投票を呼び掛けていきたい。

●大内沙月さん(水戸商高卒)

◇感想: 私より年下の方が選挙に興味を持ち積極的に参加しているのは素晴らしいと思いました。

社会人として、社会や政治の動きに興味を持ち日々生活しないといけないと感じました。

